

ガラステストピース材質変更のご案内

拝啓

貴社益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。日頃より弊社製品をご愛顧賜り誠に有難う御座います。首記の内容についてご説明します。ご査収の程、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1 概要

JIMA（日本検査機器工業会）が販売しておりますX線検査機用ガラステストピース（種類名称：ソーダガラス）は、2016年9月30日をもって出荷中止とさせていただきます。代替品としては、材質を石英ガラスへ変更した、現在販売中の新ガラステストピース（種類名称：石英ガラス）になります。

2 出荷中止対象テストピース

- ・ シリーズ名 : FGB シリーズ全種
- ・ 出荷中止予定日 : 2016年9月30日

3 新テストピース

- ・ シリーズ名 : FRQB シリーズ
- ・ 販売開始日 : 販売中

ガラス種類	形名	試験片サイズ	一般価格
石英ガラス	FRQB5-01	φ2.0~6.0mm 5連タイプ	¥ 16,000
	FRQB5-02	φ1.0~4.0mm 5連タイプ	¥ 16,000
	FRQB5-1.0	φ1.0mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-1.5	φ1.5mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-2.0	φ2.0mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-3.0	φ3.0mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-4.0	φ4.0mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-5.0	φ5.0mm 単品タイプ	¥ 5,300
	FRQB5-6.0	φ6.0mm 単品タイプ	¥ 5,300

4 材質変更までの経緯

ソーダガラスは材料組成に規格がなく、各成分許容範囲に幅があるため、材料仕入れロットによってはX線透過密度が異なり、透過度合いに差が出る恐れがあることが判明致しました。具体的には、仕入れロットの異なるテストピースにおいて、検出可能なテストピースサイズに差が出る可能性が考えられます。

対して石英ガラスは、主材料のSiO₂が99.99%を占め、純度が極めて高いため、より安定した検出結果が得られる材料であるとして、石英ガラスへ材質変更することと致しました。

5 注意事項

石英ガラスはソーダガラスと比較して不純物が少なく、純度が極めて高いため、X線を透過しやすく、ソーダガラスよりも検出しづらい傾向がございます。そのため、管理テストピースをソーダガラスから石英ガラスへ入れ替えた際は必ず、管理感度を再度設定した後の運用をお願い申し上げます。

また、この度の材質変更は、より品質の安定した製品の提供を目的としております。

現在御使用頂いているソーダガラステストピースは、同一形名のテストピース間で透過差が生じる可能性はありますが、各個体の品質に問題があるということではございません。

以上